

各位

2024年度 新入社員入社式 社長挨拶（要約）

株式会社 ツムラ

株式会社ツムラ（本社：東京都港区、代表取締役社長CEO：加藤照和）では、2024年度新入社員入社式を4月1日（月）に天成園小田原駅別館（神奈川県小田原市）にて開催しました。入社式での社長挨拶の要約を配付します。

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ 担当：瀬戸

TEL 03-6361-7100

107-8521 東京都港区赤坂2-17-11

shuzai@mail.tsumura.co.jp

2024年度 新入社員入社式 社長挨拶（要約）

～自分で考え、判断し、自ら行動できる人財に～

昨年4月10日、当社は創業130周年を迎え新たな一步を踏み出しました。新たな歴史を創っていくにあたり、将来を担う皆さんを迎えられたことは大変な喜びです。心から歓迎いたします。

当社グループは2022年4月に「TSUMURA GROUP DNA Pyramid」を刷新し、事業を行う上での原理・原則・理法であるプリンシプル「順天の精神」および、創業の原点と50年・100年という未来を結ぶ、社会的使命として究極的に成し遂げる事業の志であるパーパス「一人ひとりの、生きるに、活きる。」を新たに制定し、ピラミッドの上位に位置付けました。また、当社グループのサステナビリティビジョン「自然と生きる力を、未来へ。」と次なる10年に向けた長期経営ビジョン「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」を策定し、ビジョンの実現に取り組んでいます。

当社は1893年に「中将湯本舗 津村順天堂」として創業しました。創業者である初代・津村重舎は、明治時代、女性の医療アクセスが難しい中、和漢婦人薬「中将湯」で人々に寄り添い、「社会公益の一端ともなる意義ある事業」を目指しました。明治維新以降、医学も西洋医学一辺倒へと医療制度改革が行われ、創業からわずか2年後の1895年には「漢医継続願」が帝国議会で否決となり、事実上、漢方は排斥されました。しかし津村重舎は、「中将湯」の価値を信じ、社会や人々のお役に立つ「良薬は必ず売れる」という信念を貫き、漢方の復興を目指して事業を継続しました。事業を引き継いだ2代・津村重舎も太平洋戦争が始まった年、逆境での事業継承の中、「順天の精神」で度重なる苦難を乗り越えてきました。初代・2代が懸命にバトンをつなぎ、81年の歳月を費やし、1976年に医療用漢方製剤の薬価基準収載が実現し、漢方の復権を成し遂げました。私たちは創業の原点・創業の想いを受け継ぎ、日々前進していきます。デジタル時代において、個の医学である漢方医学は、一人ひとりに合った個別化治療を実現することができるはずで、多成分系複合製剤である漢方製剤だからこそ、「漢方のツムラ」だからこそ、成し遂げることができるかと確信しています。

そして、当社グループは、日本国内のみならず「中国国民の健康に貢献する」というビジョンを掲げ、中国においてもビジネスを展開し、前例がなく難易度が高い事業にもチャレンジしています。ゼロから1を生み出すことは、1を100倍にするよりも難しいものです。皆さんには、国際的なフィールドで活躍できるグローバル人財になることを期待しています。

当社グループでは目指すべき人財像を「志・情熱」「使命感」「プロフェッショナル」「自立」「利他」の5つとし、「誰からも信頼される人格の形成」を目指しています。成長のためには、一人ひとりが常に自己研鑽を積むことにより、潜在能力を開発することが不可欠です。自分に何が足りないのかに気づき、いち早く学習し行動してください。当社グループが求めているのは、「自分で考え、自分で判断して、自分で行動できる」自主自立した人財です。

企業経営の原点は「企業は人なり」であり、個々の能力である「人的資本」とチーム力である「組織資本」こそが企業経営の基盤です。原点はやはり「人」であり、「人」が企業の原動力です。「TSUMURA GROUP DNA Pyramid」の本質が深く浸透し受け継がれていくよう、一人ひとりが常に意識しながら日常の業務を遂行していきましょう。

以上